

# 相田みつをの言葉と私たちの拓く未来

## —これからの時代をどう生きていくか—

日時：令和元年11月22日（金）午後1時30分～午後3時

会場：足利大学本城キャンパス本館2階 月見ヶ丘ホール

鼎談：相田みつを美術館 館長 相田 一人（あいだ かずひと）

曹洞宗高福寺住職・足利大学理事 武井 全補（たけい ぜんぽ）

相田みつをが生涯師事した武井哲應老師ご子息

学校法人足利大学 理事長 牛山 泉（うしやま いずみ）

### 講座の概要

東日本を中心に大きな被害をもたらした台風19号。栃木県においても各所で河川の氾濫や浸水が発生するなど大きな爪痕を残し、改めて私たちが自然災害にどう向き合っていくべきかを考える機会となりました。

信仰や科学は私たちに何を教えてくれるのか。そして今、私たちは未来へ向かってどう行動すべきか。現実を見つめ、具体的に、人々と自然とが共生できる社会を築いていくために、相田一人館長、武井全補老師、牛山泉理事長が相田みつを先生の言葉を選び、被災された方へのメッセージも込め、附属高校の生徒の皆さんと一緒に考えます。

定員：50名（事前申し込み制・参加費無料）

※このほか足利大学附属高校・足利短期大学附属高校の生徒が約120名参加します。

※参加希望の方は足利大学法人本部へ電話でお申し込みください。〔受付時間 平日 午前9時～午後5時〕

#### 今回の講座開催について

学校法人足利大学は、足利旧市内の17ヶ寺により組織された足利仏教和合会が大正14年足利実践女子校を開校したのに始まり、現在は大学、短大、高校、幼稚園を要する学園となっています。相田みつをの生涯の師である武井哲應老師は前身の足利工業大学（現足利大学）の学監を務め、校歌を作詞し、相田みつをが書にしているご縁があります。今回のイベントは、相田みつを美術館との包括協定に基づき、本学園の学生・生徒・教職員及び市民の皆さまに対する、「相田みつをの世界」に接する機会の提供及び精神的豊かさの涵養を目的として実施するものです。

主催：足利大学 後援：足利市、足利市教育委員会

問い合わせ先： 足利大学 法人本部 ☎0284(62)9981